

船舶事故調査報告書

平成28年8月25日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	衝突
発生日時	平成27年12月16日 19時30分ごろ
発生場所	愛媛県新居浜市新居浜港多喜浜区 新居浜港多喜浜東防波堤灯台から真方位133° 1,400m付近 (概位 北緯33° 59.0′ 東経133° 20.8′)
事故の概要	旅客フェリーおおしま7は、着棧作業中、また、漁船千代丸及び漁船泰宝丸は、共に岸壁に係留中、おおしま7が千代丸及び泰宝丸に衝突した。 おおしま7は、右舷船首部外板に擦過傷を生じ、また、千代丸及び泰宝丸は、左舷船尾部外板の擦過傷等を生じた。
事故調査の経過	平成27年12月24日、調査を担当する主管調査官（広島事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済み
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	A 旅客フェリー おおしま7、188トン 141513、愛媛県新居浜市、独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構 B 漁船 千代丸、4.92トン EH3-32425（漁船登録番号）、個人所有 第281-42533号（船舶検査済票の番号） C 漁船 泰宝丸、4.9トン EH3-33502（漁船登録番号）、個人所有
乗組員等に関する情報	A 船長A、六級（航海）
負傷者	なし
損傷	A 右舷船首部外板に擦過傷 B 左舷船尾部外板に擦過傷、左舷船首側のブルワークに破損等 C 左舷船尾部外板に擦過傷、オーニング支柱に曲損等
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 西南西、風力 4（最大瞬間風速 約14 m/s）、視界 良好 海象：海上 平穏、潮汐 下げ潮の末期
事故の経過	A船は、「新居浜港多喜浜区（黒島地区）の棧橋」（以下「本件棧橋」という。）に右回頭して船首着けする予定で着棧作業中、風が約10m/sの西南西風だったので、船長Aが、いつもより風上の場所で右回頭しようとして操船した。 A船は、右回頭して船首が北方に向いた頃、西南西風を左舷側に受けるようになり、本件棧橋から約30m手前で減速したところ、突風を伴う西南西風に圧流され、A船の右舷船首部が岸壁に係留中のB船

	<p>とC船の左舷船尾部に衝突した。</p> <p>B船及びC船は、無人の状態、船首を北方に向けて本件棧橋東側の岸壁に係留されていた。</p>
分析	<p>A船は、着棧作業中、突風を伴う風を受けたことから、岸壁に向けて圧流され、岸壁に係留中のB船及びC船と衝突したものと考えられる。</p>
原因	<p>本事故は、夜間、A船が着棧作業中、突風を伴う風を受けたため、圧流されて岸壁に係留中のB船及びC船と衝突したことにより発生したものと考えられる。</p>
参考	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・強風下の着岸に際しては、事前に錨の使用なども含めて着岸の回避を検討すること。 ・岸壁に向けて圧流されるおそれのある場合は、フェンダなどの準備をすること。